

～会のあゆみ～

昭和 38 年 10 月 「豊能手をつなぐ親の会」より独立し
「豊中市手をつなぐ親の会」を結成

昭和 59 年 5 月 第 1 号福祉作業所 西丘サークル 開所
その後、平成 11 年までに 14 ヶ所の福祉作業所を開設

平成 8 年 4 月 豊中みんなでがんばる会（本人の会）が発足する

平成 13 年 8 月 福祉作業所のぞみ園が、社会福祉法人
「豊中のぞみ会」を設立。これにより
のぞみ園は知的障害者通所授産施設（小規模）となる

平成 13 年 10 月 社会福祉法人「豊中親和会」を設立

平成 14 年 4 月 知的障害者通所授産施設「みらい」開所

平成 17 年 4 月 福祉作業所クレヨンが、社会福祉法人
「^{もぎし}萌」を設立。これによりクレヨンは
知的障害者通所授産施設（小規模）となる

平成 17 年 9 月 知的障害者通所授産施設「第 2 みらい」
開所

※みらい、第 2 みらいの開所を以て、傘下の全ての福祉作業所の法内施設への移行を完了し、現在に至る

ノーマライゼーションの基本理念

障害を持つ人も持たない人も、高齢者も若い人も、様々な人が、皆あたりまえに住み慣れた地域で生活を続けていくのが、「普通の社会」である。

連絡先

〒561-0854

豊中市稲津町 1-1-20

豊中市立障害福祉センター ひまわり内

豊中市手をつなぐ親の会

TEL 06-6866-1011

お問い合わせ

会長 星屋 好武 (TEL/FAX 06-6854-3191)

豊中市

手をつなぐ親の会

ご案内

会の目的

- ・ ノーマライゼーションの理念に基づき、障害児・者の人権が尊重され、平等に社会参加ができるよう、地域社会への働きかけを行うこと。
- ・ 豊中市の障害福祉向上のため、他団体との連携を図りながら、行政への働きかけを行うこと。
- ・ 知的障害児・者を持つ親たちが、しっかりと手をつないで相互に親睦をはかること。

<豊中みんなががんばる会>

18歳以上の障害者本人たちが支援者とともに年間行事を計画し、毎月1回、映画鑑賞、ボウリング、野外活動等のレクリエーションを実施しています。

部会の活動

<成人対策部会>

成人に達した障害者の親たちで構成し、障害者が安心して生活していくための日中活動の場（通所・就労）や生活の場（グループホーム・ケアホーム）についての研究や情報交換また施設見学を実施しています。

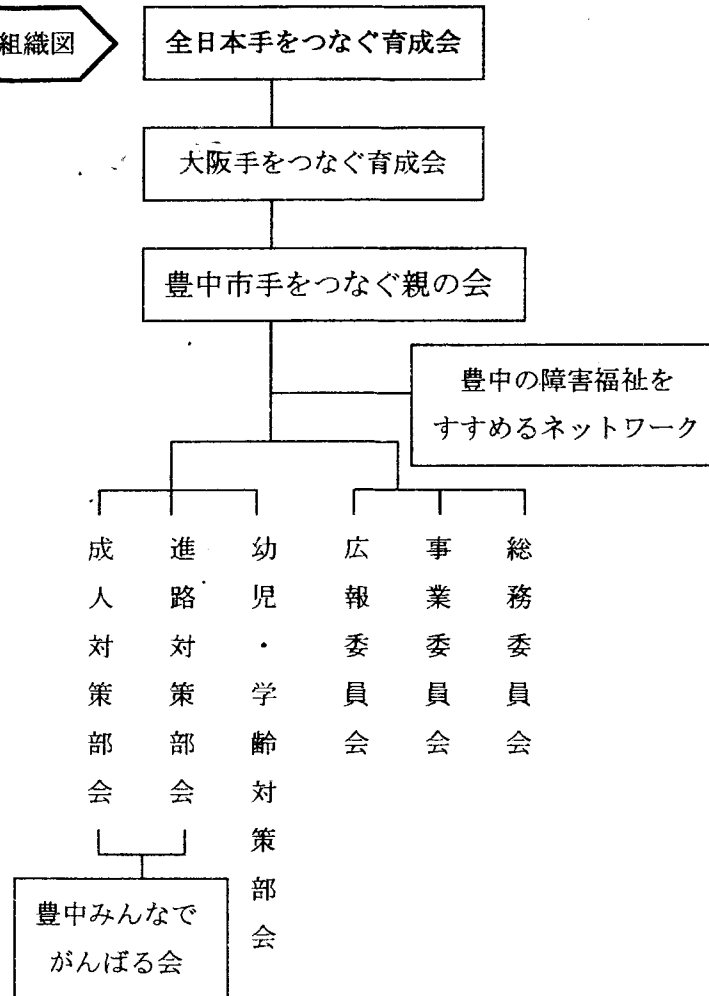
<進路対策部会>

主に中学・高校生の障害児の親たちで構成し、授産施設や企業の見学等を行い、将来の進路選択時に備える他、親子の親睦を図るための日帰り旅行やクリスマス会等を実施しています。

<幼児・学齢対策部会>

小学生以下の障害児の親たちで構成し、子育ての情報交換や親睦を図るため、定例会、体操教室、日帰りレクリエーション、講演会等を実施しています。

組織図



委員会の活動

<広報委員会>

広報誌「こころ」の定期発行

<事業委員会>

会員相互の親睦を図るためのレクリエーション等の事業の計画・実施
貸切バスにて親子でバス旅行（例・・・神戸花鳥園、淡路島イングランドの丘 等）

<総務委員会>

会員への案内・伝達に関する文書の印刷・発送、運営委員会・全体定例会等の会場準備

成人対策部会	158名
進路対策部会	15名
幼児・学齢対策部会	31名
会員総数	204名
（平成20年3月末現在）	